

「地域密着型金融推進計画」に関する進捗状況の公表について

福岡県南部信用組合は、平成17年3月29日に金融庁より公表された「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」に基づき、計画書を策定し取組んで参りましたのでその進捗状況を、ここに本「要約書」にて皆様に公表致します。
この推進計画は、当組合が平成17年度及び平成18年度の2カ年間に於いて取組むべき「中小企業金融の円滑化、経営力の強化、地域利用者の利便性向上」を図るための各種の施策に対する進捗状況を記載しております。
当組合は、これからも中小企業ならびに皆様の発展ひいては地域社会に貢献できるように誠心誠意努めて行く所存でございますので、今後ともご理解を賜りご愛顧戴きますようお願い致します。

平成19年5月15日
福岡県南部信用組合

地域密着型金融推進計画の取組み進捗状況（要約）「平成17・18年度」

基本方針

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化
2. 経営力の強化
3. 地域利用者の利便性向上

平成17年4月～19年3月末までの計画に対する取組み進捗状況

- ・ 創業・新事業支援機能等の強化として、情報収集活動の徹底を図りました。
- ・ 融資審査能力向上のためにOJT研修等を実施するとともに外部研修会に派遣し、取引先の資金需要の把握に努め資金支援、制度資金の活用を図りました。
- ・ 取引先に対する経営相談・支援機能の強化としてコンサルタント顧問・関連専門職の支援活用を致しました。
- ・ 要注意先等の健全化として、経営支援取組先への支援および債権管理の健全化を図りました。
- ・ 顧客への説明態勢強化のため勉強会を行い、また個人情報保護法施行に伴う顧客情報取扱いの適正化を徹底するため、プロジェクト委員会を立ち上げ規程を策定し研修会を実施することにより顧客保護・管理の徹底を図りました。
- ・ Tの戦略的活用については、業界機関のシステム利用及び当組合の現状システムにて可能な限り対応していますが平成20年全国信用組合システムセンター加入によるシステム対応の充実の検討を図っています。なお、平成18年下期SKC移行のためのシステム導入（周辺機器購入）を決定しました。
- ・ 「地域の利用者利便性向上」として、地域利用者のニーズを収集し、その情報を基に経営の活性化を図り、小回りの効く営業活動を行うことにより、顧客の利便性向上に努め、また地域からの理解を得られるように、ディスコロージャー誌およびホームページにおいて、分かりやすい情報の開示に努めました。
- ・ 融資講座の研修会等年間計画による研修会の実施を図りました。
- ・ 経営支援先の30先を見直し経営支援を実施しました。
- ・ 内部格付けによる担保・保証に依存しない審査対応の充実を図りました。
- ・ 中小企業庁より発刊された、中小企業の会計を各営業店へ配布し融資審査の能力向上、取組を図りました。
- ・ リスク管理規程の見直しを行い、信用リスクデータを整備することにより、預金の業種別残高・貸出金業種別残高構成・大口債権の状況把握を行いました。
- ・ 償却・引当の正確性を図るため、自己査定研修会を実施しました。

- ・社会奉仕のための地域行事・スポーツ・文化的催しに積極的に参加しました。
- ・利用者満足度を調査するため、当組合のお客様にアンケートを依頼いたしました。
- ・法令等遵守のための基本方針と遵守基準の作成マニュアルの見直しを図りました。

計画の達成状況

「事業再生・中小企業金融の円滑化」について

事業再生・中小企業金融の円滑化のための、融資審査に対する審査能力の向上・目利き審査の強化を図る目的で融資審査に関する研修会及び外部研修会への派遣等を実施し、経営支援による中小企業金融円滑化、債権の健全化による収益性の向上に努めました。

「経営力の強化」について

組合経営に関する社会的責任と公共的使命を果たすため、法令等遵守態勢の強化による倫理の確立、各種リスク管理態勢の充実を図りました。個人情報管理における種々の管理態勢対応のために各規程集の見直しによる内部管理態勢の強化を図りました。ガバナンスの強化として総代会において組合員の意見の反映を主に、総代の役割、総代氏名の公表による組合との連携の強化による組合員及び地域とのつながりによる貢献について検討を致しました。

「地域利用者の利便性向上」について

当組合は、地域利用者の顧客ニーズ把握とサービス充実のため情報収集強化、社会奉仕実施、しんくみ生活総合センターシステム「あのねット」への加入推進などを行うとともに、小回り効く営業活動によってお客様の利便性の向上に繋がるよう努めています。地域からの理解を得るよう、集めた資金が地域貢献にどのように活かされているかなど、地域別・業種別、預金・貸出金構成及び経営状況について分かりやすい公表に努めております。

計画の達成状況に対する分析・評価及び今後の課題

「事業再生・中小企業金融の円滑化」については、事業再生に対する知識の向上と、要注意債権等の健全化の対応強化に努め、また各政府系金融機関とも連携を深め、中小零細企業の事業再生に取り組めます。また、要注意先等の健全化としては、経営支援取組先への支援また債権管理の強化により債権の健全化を図ります。

「経営力の強化」については、社会的責任と公共的使命を基本とし顧客ニーズに対応した融資増強による収益の確保、諸手数料収入、経費削減による経営安定化を図ります。

「地域利用者の利便性向上」については、以下のように取り組めます。

- ・ホームページの開設による情報開示、顧客ニーズへの対応の強化
- ・利用者の利便性の向上のため、地域貢献、社会奉仕に取組み地域からの理解を得るよう、また分かりやすい開示に努めます
- ・顧客の利用者満足度を調査し当組合の今後の方向性を再認識すると共に利便性の向上に努めます

2. 新アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況

項 目	具体的な取組み	スケジュール		平成18年4月～19年3月までの進捗状況	
		17年度	18年度	18年4月～18年9月まで	18年10月～19年3月まで
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化					
(1) 創業・新事業支援機能等の強化					
	<ul style="list-style-type: none"> 融資審査態勢の強化のため、融資部に於いて各店の融資担当者の審査能力向上のためOJT研修の実施をします (営業店の融資役席者14名の研修) 融資増強見込み店舗をモデル店として融資専担者の配置をします 地域に密着した小回り・機動力を生かした営業活動の強化をします 創業・新事業支援制度の勉強会を実施します 既存取引先からの情報収集と融資顧客ターゲット先の洗い出しによる融資支援を図ります 店長・得意先係の年間行動計画による情報収集活動の充実と顧客の利便性を思考した取引先との密着を図ります 商工会議所・中小企業支援センターの活用を図ります 政府系金融機関及び関連機関との連携の強化による創業・新事業支援に取組みます 監査部において取組状況について半期ごとに検証を実施します 中小企業庁の創業・新事業支援制度の活用を強化します 平成18年度末 預金目標額75,780百万円 平残目標額75,258百万円 平成18年度末 貸出金目標39,533百万円 平残目標額38,500百万円 	<ul style="list-style-type: none"> 融資部にて各店融資担当者の審査能力向上のためOJT研修を6月7日より開始 (営業店融資役席者1人4日間) 融資先の状況把握の強化(顧客カードの整備) 融資増強見込み店舗への融資専担者の配置 地域に密着した小回り・機動力を生かした営業活動の強化 創業・新事業支援制度の勉強会を実施 商工会議所・中小企業支援センターの活用を図る 政府系金融機関及び関連機関との連携の強化による創業・新事業支援の取組み 監査部において取組状況について半期ごとに検証を実施 中小企業庁の創業・新事業支援制度の活用強化 平成17年度末預金 目標74,835百万円、 平残目標額74,557百万円 平成17年度末貸出金 目標39,293百万円、 平残目標額38,836百万円 創業・新事業支援取組み及び公表(期中支援額) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着による融資先の経営状況の継続的情報収集を図る 既存取引先よりの情報収集と小回り・機動力を生かした営業活動の強化 創業・新事業に関する研修会の実施 創業・新事業に対する情報収集による支援資金目標達成のための推進状況管理 政府系金融機関等及び関連先との連携の強化 監査部において取組状況について半期ごとに検証を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年6月7日より、融資担当者に対するOJT研修を開始し現在まで継続しております 「業界内講師による勉強会」において熊本県中小企業協会より中小企業支援の具体例について受講しました 保証協会と融資制度の情報収集のため研修会を実施しました 監査部により計画の取組み進捗状況について検証をしました 平成18年9月末預金実績 未残高 73,872百万円 平残高 74,516百万円 平成18年9月末貸出金実績 未残高 38,371百万円 平残高 37,562百万円 創業・新事業支援額(上半期) 454百万円 (おうえん資金)(上半期) 157百万円 	<ul style="list-style-type: none"> 営業店融資担当者に対するトレーナー制度(OJT研修)を引続き行いました 経済産業省九州経済産業局・福岡財務支局主催「創業金融セミナー」へ参加しました H19年3月末 預金実績 未残高 73,452百万円 平残高 73,959百万円 H19年3月末 貸出金実績 未残高 38,478百万円 平残高 37,780百万円 創業・新事業支援額(下半期) 100百万円 (おうえん資金)(下半期) 39百万円

項目	具体的な取組み	スケジュール		平成18年4月～19年3月までの進捗状況	
		17年度	18年度	18年4月～18年9月まで	18年10月～19年3月まで
(2)取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化					
その1 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業に対するコンサルティング機能、情報提供の一層の強化のため研修会の実施と情報収集の強化を図ります ・九州経済産業局の支援制度の情報収集による制度の浸透・活用します。 ・中小企業支援センターより支援指導を受けるようにします ・商工団体等との連携の強化、外部専門家、政府金融機関等の連携強化・有効活用します ・コンサルタント顧問による取引先支援及び地区懇談会の開催を検討します ・当組合への顧客からの経営相談受付窓口の設置の検討をします ・中小企業支援スキルの向上を目的とした研修会の実施、外部研修会への派遣をします 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業に対するコンサルティング機能、情報提供の一層の強化のため研修会の実施と情報収集の強化を図る ・九州経済産業局の支援制度の情報収集による制度の浸透・活用 ・中小企業支援センターより支援指導を受ける ・商工団体等との連携の強化、外部専門家、政府金融機関等の連携強化・有効活用 ・コンサルタント顧問による取引先支援及び地区懇談会の開催を検討 ・当組合への顧客からの経営相談受付窓口の設置の検討 ・中小企業支援スキルの向上を目的とした研修会の実施、外部研修会への派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業に対するコンサルティング機能、情報提供の一層の強化のため研修会の実施 ・九州経済産業局の支援制度の情報収集による制度の浸透・活用にあたり中小企業庁発行資料等を活用しております ・中小企業支援センターより支援指導を受ける ・商工団体等との連携の強化、外部専門家、政府金融機関等の連携強化・有効活用 ・中小企業支援スキルの向上を目的とした研修会の実施、外部研修会への派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・3ブロックによる中小企業の資金調達支援及び地域貢献に対する情報交換会を実施しています ・九州協会主催、新アクションプログラムによる収益強化を目指した「CS経営・収益戦略講座」を受講しました ・金融支援室によるランクアップの進捗状況把握のため、全営業店を訪問指導しています ・県協会主催融資審査講座を受講しました ・中小企業庁発行（中小企業の財務指標）を全店に配布しました 	<ul style="list-style-type: none"> ・3ブロックによる中小企業の資金調達支援及び地域貢献に対する情報交換会を引続き実施していません ・中小企業庁発行「事業承継ガイドライン20問 20答」を全支店へ配布しました ・顧問講師によるコンプライアンス研修を開催しました
その2 要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・要注意先債権等の健全化のため体制整備の確立を検討します ・継続した情報収集による経営内容把握による支援強化を図ります ・経営改善支援取組み先の選定をします ・経営支援取組み先の経営状況の検証をします ・経営改善支援先の債務者区分のランクアップ進捗管理を図ります ・要注意先債権等の健全化のためのローンレビューの徹底を図ります（大口債権先の管理・業種別残高管理・延滞先状況管理・担保保全状況管理） 	<ul style="list-style-type: none"> ・要注意先債権等の健全化のため体制整備の確立を検討 ・経営改善支援取組み先の選定 ・経営支援取組み先の経営状況の検証 ・経営改善支援先の債務者区分の進捗管理を図る ・要注意先債権等の健全化のためのローンレビューの徹底を図る（大口債権先の管理・業種別残高管理・延滞先状況管理・担保保全状況管理） 	<ul style="list-style-type: none"> ・体制整備確立 ・経営改善支援先の経営状況把握及び見直し ・経営改善支援による債務者区分のランクアップ先数推移管理（半期ごと） ・要注意先債権等の健全化のためのローンレビューの徹底（大口債権先の管理・業種別残高管理・延滞先状況管理・担保保全状況管理） 	<ul style="list-style-type: none"> ・事後管理要領（ローンレビュー）を策定しました ・大口債権管理、業種別管理のための方針作成と方法の検討をしています ・ファミリービジネス・フォーラムに参加しました ・平成18年9月末の指数において不良債権比率は前期末より1.11%改善できました 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローンレビュー徹底のため大口先・要注意先・破綻懸念先等の事後管理を通過により図りました ・管理部提出書類を一部見直し延滞早期解消に努めています ・平成19年3月末の指数において不良債権比率は14.22%となり1.75%改善できました

項 目	具体的な取組み	スケジュール		平成18年4月～19年3月までの進捗状況																
		17年度	18年度	18年4月～18年9月まで	18年10月～19年3月まで															
その3 健全債権化等の強化に関する実績の公表等	<p>体制の整備、経営の強化による財務面の健全化を図り信頼されるようにディスクロージャー誌（ミニディスクロー誌）にて公表を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援取組み先数の公表 ・債務者区分のランクアップ先数の公表 ・業種別預金 / 貸出金状況の公表 ・リスク管理債権及び保全状況の公表 ・金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額の公表 	<p>体制の整備、経営の強化による財務面の健全化を図り信頼されるようにディスクロージャー誌（ミニディスクロー誌）にて公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援取組み先数の公表 ・債務者区分のランクアップ先数の公表 ・業種別預金 / 貸出金状況の公表 ・リスク管理債権及び保全状況の公表 ・金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額の公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援取組み先数の公表 ・債務者区分のランクアップ先数の公表 ・業種別預金 / 貸出金状況の公表 ・リスク管理債権及び保全状況の公表 ・金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額の公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌において開示しました ・営業店および本部二次査定者に対する研修会の実施（自己査定者のテスト実施） ・ランクアップに関する事例集を各営業店へ配布し、取組みに対する意識の向上を図りました ・業種別・地区別の貸出残高、預金残高の公表をしました ・取組みの公表、実績の公表については要約書にて、金融再生法開示に関する債権・保全状況、リスク管理債権についてはディスクロージャー誌により公表しました 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型金融の推進に関するアクションプログラム進捗状況（要約）上期分を平成18年11月、当組合ホームページ及び各営業店の店頭において公表しました ・業種別預金・貸出金の状況をミニディスクロージャー誌により公表しました ・平成19年3月末貸出金の分類額 <table border="0"> <tr> <td>非区分債権</td> <td>5先</td> <td>2,215百万円</td> </tr> <tr> <td>正常先債権</td> <td>4,635先</td> <td>24,136百万円</td> </tr> <tr> <td>要注意先債権</td> <td>242先</td> <td>8,833百万円</td> </tr> <tr> <td>破綻懸念先債権</td> <td>66先</td> <td>1,308百万円</td> </tr> <tr> <td>実質破綻先債権</td> <td>71先</td> <td>1,438百万円</td> </tr> </table>	非区分債権	5先	2,215百万円	正常先債権	4,635先	24,136百万円	要注意先債権	242先	8,833百万円	破綻懸念先債権	66先	1,308百万円	実質破綻先債権	71先	1,438百万円
非区分債権	5先	2,215百万円																		
正常先債権	4,635先	24,136百万円																		
要注意先債権	242先	8,833百万円																		
破綻懸念先債権	66先	1,308百万円																		
実質破綻先債権	71先	1,438百万円																		

項 目	具体的な取組み	スケジュール		平成18年4月～19年3月までの進捗状況	
		17年度	18年度	18年4月～18年9月まで	18年10月～19年3月まで
(3) 事業再生に向けた積極的取組み					
その1 事業再生に向けた積極的取組み	<ul style="list-style-type: none"> 再生ノウハウの向上のための研修会の実施を図ります 外部機関等よりの情報収集の強化を図ります 再生事例の検討会の実施による債権の健全化を図ります 	<ul style="list-style-type: none"> 顧問講師による研修会の実施 外部機関等より情報収集 再生事例の検討会の実施による債権の健全化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 顧問講師による研修会の実施 外部機関等より情報収集 再生事例の検討会の実施による債権の健全化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 顧問講師及び外部機関より情報収集を図り研修に活用しています 信組県協会主催の融資審査講座に営業店担当者が受講しました 中小企業庁のホームページより財務指標をダウンロードし各営業店に配布しました 	<ul style="list-style-type: none"> 金融支援室は各店訪問時に金融庁及び外部研修会事例集により、支店長・次席者にビジネスマッチング等事例を取り上げ指導しました
その2 再生支援実績に関する情報開示の拡充、再生ノウハウ共有化の一層の推進	<ul style="list-style-type: none"> 再生ノウハウに対する研修会の実施、外部専門機関との情報交換の強化を図ります 半期ごとにディスクロージャー誌にて公表します 	<ul style="list-style-type: none"> 再生に対する外部機関との情報交換の取組み 半期ごとにディスクロージャー誌にて公表 	<ul style="list-style-type: none"> 再生に対する外部機関との情報交換の取組み 半期ごとにディスクロージャー誌にて公表 	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業再生協議会より事業再生研修会を受講しました 	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度上期「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」取組進捗状況をミニディスクロージャー誌にて公表しました

項 目	具体的な取組み	スケジュール		平成18年4月～19年3月までの進捗状況	
		17年度	18年度	18年4月～18年9月まで	18年10月～19年3月まで
(4)担保・保証に過度に依存しない融資の推進等					
担保・保証に過度に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> 取引先の経営状況の把握・情報収集による支援強化を図ります 目利き研修の実施を図ります 融資審査態勢の高度化に努めます <p>融資業務の高度化 信用格付けの構築が最重点課題で平成20年のS K C移行に向けての準備を図ります</p> <p>適正な貸出金利の設定 取引先を財務内容や信用状況に応じて格付けし、その格付けに応じて貸出金額や期間に応じた標準的金利の設定のためマニュアルの見直しを図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ローンレビューの徹底 本部と営業店が一体となり、融資申込みから、営業店、融資部による十分な調査や常務会の審査を経て融資実行し、融資実行後に於いても融資資金が回収されるまで、融資二課・管理部に於いて継続的に取引先のモニタリングを行います スコアリング方法の確立による内部格付基準の見直しを図ります 	<ul style="list-style-type: none"> 取引先の経営状況の把握・情報収集 目利き研修の実施による知識の向上 融資審査態勢の高度化 融資業務の高度化 適正な貸出金利の設定 ローンレビューの徹底 スコアリング方法の確立による内部格付基準の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 取引先の経営状況の把握・情報収集 目利き研修の実施による知識の向上 融資審査態勢の高度化 融資業務の高度化 適正な貸出金利の設定 ローンレビューの徹底 スコアリング方法の確立による内部格付基準の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 融資部に於いて、融資担当者のOJT研修(トレーニー制度)を継続しております 顧問講師による融資に関する目利き研修を実施しました 九州信組協会・県協会の研修会への派遣を行いました ㈱オリエントコーポレーションと提携した個人事業者向け商品、スモールローンを発売しました 	<ul style="list-style-type: none"> 条件緩和債権判定の基準金利として、自己査定委員会より本年度期間の基準金利算定の基礎数値を取決めました 融資債権事後管理要領(ローンレビュー)徹底の一環として管理部による債権管理回収講座を平成18年12月23日に開催しました
<p>中小企業の資金調達手法の多様化等</p> <p>その1 中小企業の資金調達手法の多様化等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 業種別預金・貸出金状況の管理を図ります 全国信用組合連合会との情報交換、収集による収益の向上を図ります <p>(余裕資金の運用にて収益確保、預け金、国債、社債400億円) (融資の集中化管理・ノウハウの蓄積)</p> <ul style="list-style-type: none"> 政府系金融機関等との連携による協調融資の取組みを図ります 	<ul style="list-style-type: none"> 業種別預金・貸出金状況の管理を図る 全国信用組合連合会との情報交換、収集による収益の向上を図る <p>(余裕資金の運用にて収益確保、預け金、国債、社債400億円) (融資の集中化管理・ノウハウの蓄積)</p> <ul style="list-style-type: none"> 政府系金融機関等との連携による協調融資の取組みを図る 	<ul style="list-style-type: none"> 業種別預金・貸出金状況の管理を図る 全国信用組合連合会との情報交換、収集による収益の向上を図る 政府系金融機関等との連携による協調融資の取組みを図る 	<ul style="list-style-type: none"> 業種別預金・貸出金状況に関しては、ディスクロージャー誌により公表しました 政府系金融機関の連携として、県保証協会と融資に関する情報交換研修会を久留米地区・瀬高、柳川地区にて実施しました 	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年8月10日発売 ㈱オリエントコーポレーション提携商品スモールローン(原則保証人不要)取扱状況 平成19年3月末現在 取扱件数 22件 金額 25,800千円

項 目	具体的な取組み	スケジュール		平成18年4月～19年3月までの進捗状況	
		17年度	18年度	18年4月～18年9月まで	18年10月～19年3月まで
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・当組合内に顧客からの相談苦情の受付窓口の設置を図ります(公表) ・発生事案の原因分析、検証による共有化、未然防止への還元活用を実施します ・説明態勢の充実・処理機能の検証を強化します ・監査部による本部・営業店の説明態勢・相談苦情対応処理状況に対する検証の強化を図ります ・顧客説明態勢に係るマニュアルの見直しを図ります ・事務リスクにおける事務ミスに対する原因分析・検証をします 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業店での説明態勢の継続的勉強会の実施、対応状況の検証・自主検査の強化を図る ・事例の検討・還元活用にて苦情等の未然発生防止の強化を図る ・監査部による本部・営業店の説明態勢・相談苦情対応処理状況に対する検証の強化を図る ・顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化のため、顧客からの相談苦情受付窓口の設置を図る(公表) ・顧客説明態勢に係るマニュアルの見直し ・事務リスクにおける事務ミスに対する原因分析・検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業店での説明態勢の継続的勉強会の実施、対応状況の検証・自主検査の強化を図る ・事例の検討・還元活用にて苦情等の未然発生防止の強化を図る ・監査部による説明態勢・相談苦情の処理状況の検査の強化 ・事務リスクにおける事務ミスに対する原因分析・検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域店舗3ブロックにて相談・苦情の把握と処理対応について情報交換を図るため、報告会を月1回開催しております ・コンプライアンス研修(部店内研修)テーマ「与信取引に関する顧客への説明態勢にかかる規程」の勉強会を実施しました ・店内検査項目に顧客説明態勢のチェックシートの項目を盛り込み各店で検査の上、監査部へ提出させ検証しております 	<ul style="list-style-type: none"> ・「優越的地位の濫用行為」テキストを各部各店へ配布し、独占禁止法に対する認識を高め、不正な取引をしない等の対策を図っています。 ・個人情報保護法に関する勉強会を部長・次席者および窓口リーダー等に対し行いました

項 目	具体的な取組み	スケジュール		平成18年4月～19年3月までの進捗状況	
		17年度	18年度	18年4月～18年9月まで	18年10月～19年3月まで
(6)人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修は九州協会主催の事業先再生支援ランクアップ研修「リレバン総仕上げコース」、および県協会主催の法人融資講座「リレバン対応・目利き強化」を受講します（10日間延べ30名） キャッシュフローによる融資判断講座「財務分析の基本から理解する」を受講予定です。内部研修は前述の外部研修参加者を講師とした各研修・勉強会を開催します。（延べ741名） 顧問講師（経営診断士）による役席者の融資実践研修により人材の育成強化を図ります 	<ul style="list-style-type: none"> 九州協会、県協会主催の外部研修に参加 内部研修は前述研修出席者を講師とした研修及び保証協会による事業者融資説明会を開催 顧問講師（経営診断士）による同行訪問を行う為、融資獲得ターゲット先の抽出 顧問講師（経営診断士）と融資獲得ターゲット先リストに基づいた顧問（経営診断士）と役席者との同行訪問による実践研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 顧問講師（経営診断士）と融資獲得ターゲット先リストに基づいた顧問（経営診断士）と役席者との同行訪問による実践研修を実施 九州協会、県協会主催の外部研修に参加 	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修：県協会主催：九州協会主催の研修会へ参加しました 内部研修：階層別等の研修を行いました 	<p>平成18年度上期も外部研修および内部研修を行いました</p> <p>「外部研修」 （県協会主催） ：CS向上を目指して～苦情・クレーム対応向上講座 ：融資渉外講座「融資戦略と融資渉外活動」 ：リレバンの機能強化のための～債権管理回収講座</p> <p>「内部研修」 ・得意先段階別研修（コンプライアンス・融資渉外・事務リスク）計7回 ・店長役席研修：（債権管理回収講座・融資審査講座） ・窓口担当：（テラーレベルアップ研修） ・役席者研修（自己査定・債権管理回収講座） ・役席者研修：（自己査定）</p>

項 目	具体的な取組み	スケジュール		平成18年4月～19年3月までの進捗状況	
		17年度	18年度	18年4月～18年9月まで	18年10月～19年3月まで
2. 経営力の強化					
(1) リスク管理態勢の充実	<p>各部が抱えるリスクに関する課題で、優先的に取組む項目や、すぐに取組みが可能な項目から順次実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスク管理に関する基本方針の見直しを図ります。 ・自己資本比率の算出方法の精緻化を実施します。 ・リスク管理委員の研修を実施します。 ・自己査定の一貫のための研修会の実施により、適切な自己査定及び償却・引当の確保を図ります。 ・内部格付け制度の見直しを図ります。 ・リスク管理に対応したコンピュータシステムの整備を検討します。 ・市場リスク管理として仕組型預金等のリスク特性を有する金融商品への運用・活用の為、全国信用組合連合会・証券会社より情報収集と協調を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己資本比率の算出方法の精緻化を実施 ・リスク管理委員の研修 ・リスク管理に関する基本方針の見直し ・自己査定の一貫のための研修会の実施により、適切な自己査定及び償却・引当の確保 ・内部格付け制度の見直し ・市場リスク管理として仕組型預金等のリスク特性を有する金融商品への運用・活用の為、全国信用組合連合会・証券会社より情報収集と協調 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己査定の一貫のための研修会の実施により、適切な自己査定及び償却・引当の確保 ・自己資本比率の算出方法の精緻化を実施 ・ALM委員会設置の検討 ・リスク管理委員の研修 ・リスク管理に対応したコンピュータシステムの整備 ・市場リスク管理として仕組型預金等のリスク特性を有する金融商品への運用・活用の為、全国信用組合連合会・証券会社より情報収集と協調 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク管理委員会でリスクの把握や取組み方針の検討を実施しました ・内部管理基準書を策定しました ・市場関連リスク管理規程の改定を行いました ・流動性リスク管理規程において、資金繰りの逼迫度の区分に応じた判断基準を明記しました ・役員者研修：自己査定研修を管理部により行いました ・システムリスク管理規程・事務リスク管理要領・現金過不足金処理要領を統合し新たにオペレショナルリスク規程に統一しました 	<p>【リスク管理委員会検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国為替取次事務取扱要領 ・有価証券、格付、事業債のリスク管理 ・支払準備預け金等についての流動性リスク
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上	<p>収益管理態勢の整備と収益力の向上のために取組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信用リスクデータの蓄積を図ります。 ・債務者区分と整合的な内部格付け基準制度の見直しを図ります。 ・金利設定のための内部基準の整備を図ります。 ・全国信用組合連合会との一層の連携強化による余裕資金の運用及び市場リスク対応のための市場金利情報の収集を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信用リスクデータの蓄積を図る ・債務者区分と整合的な内部格付け基準制度の見直しを図る ・金利設定のための内部基準の整備を図る ・全国信用組合連合会との一層の連携強化による余裕資金の運用及び市場リスク対応のための市場金利情報の収集を図る 	<p>収益管理態勢の整備と収益力の向上のために取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信用リスクデータの蓄積を図る ・全国信用組合連合会との一層の連携強化による余裕資金の運用及び市場リスク対応のための市場金利情報の収集を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己査定基準の一部改定による査定の適切性の向上を図りました ・市場関連リスク18年3月末の有価証券・格付け、事業債の保有状況について、リスク管理委員会で検討しました 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国信用組合連合会との連携強化により、有価証券ポートフォリオを分析し今後の運用方法について勉強会を実施しました

項 目	具体的な取組み	スケジュール		平成18年4月～19年3月までの進捗状況	
		17年度	18年度	18年4月～18年9月まで	18年10月～19年3月まで
(3)ガバナンスの強化					
その2 協同組織金融機関におけるガバナンスの向上 ・半期開示の内容充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ガバナンスに関する半期毎の開示を継続実施します ・ディスクロージャー誌等の開示項目概況・組織、主要事業内容、業務に関する事項、主要業務に関する指数、預金に関する指数、貸出金当に関する指数、有価証券に指数、経営管理体制に関する事項、財産の状況、その他の業務、その他の開示項目、利用者の利便性に係る事項を開示します なお、総代会については、「総代会の仕組みと機能」「総代の役割」「総代の選出方法」「総代の選挙区及び氏名」「通常総代会開催風景（写真）」を開示します ・理事会・監事会の機能発揮状況の検証体制の強化を図ります ・ホームページによる開示をします 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌による開示項目・内容の検討 ・平成17年8月よりディスクロージャー誌の追加項目として総代会について「総代会の仕組みと機能」「総代の役割」「総代の選出方法」「総代の選挙区及び氏名」「通常総代会開催風景（写真）」を開示 ・平成17年10月 ミニディスクロージャー誌による開示項目・内容の検討 ・平成17年11月 ミニディスクロージャー誌により開示 ・ディスクロージャー誌による開示項目・内容の検討 ・理事会・監事会の機能発揮状況の検証体制の強化を図る ・ホームページによる開示の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年5月 ディスクロージャー誌及びホームページによる開示項目・内容の検討 ・平成18年7月ホームページにより開示 ・平成18年7月 ディスクロージャー誌により開示 ・平成18年10月 ミニディスクロージャー誌及びホームページによる開示項目・内容の検討 ・平成18年11月 ミニディスクロージャー誌により開示 ・平成18年11月ホームページにて開示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌による開示項目・内容の検討を行い、平成17年7月開示分より総代会の追加項目として「総代会の仕組みと機能」「総代の役割」「総代の選出方法」「総代の選挙区分及び氏名」「通常総代会開催風景（写真）」を開示しました ・平成18年7月ディスクロージャー誌により開示しました ・平成18年7月ホームページにより開示しました 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年11月ミニディスクロージャー誌により上半期開示を行いました
その2 協同組織金融機関におけるガバナンスの向上 ・総代会に一般の組合員の意見を反映させる仕組み等	<ul style="list-style-type: none"> ・総代会の仕組みと機能、総代の役割、総代の選出方法、地区毎の総代氏名の開示等を図ります 	<ul style="list-style-type: none"> ・総代会の仕組みと機能、総代の役割、総代の選出方法、地区毎の総代氏名をディスクロージャー誌で開示 	<ul style="list-style-type: none"> ・総代会の議決事項、総代会の議事の概要をディスクロージャー誌で開示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌（2006年）により開示しました 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年12月において4地区各地区総代懇談会を開催し、親睦を兼ねた意見交換・情報収集等を行いました

項 目	具体的な取組み	スケジュール		平成18年4月～19年3月までの進捗状況	
		17年度	18年度	18年4月～18年9月まで	18年10月～19年3月まで
(4)法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化					
その1 営業店に対する法令等遵守状況の点検強化等	<ul style="list-style-type: none"> 九州協会主催のコンプライアンスの定着講座「違反事例から学ぶ、定着を拒む要因・定着化に向けて目的の認知」を受講します 内部研修は前述の外部研修参加者を講師とした各研修・勉強会を開催します コンプライアンス研修テーマに基づいた実施報告書の状況を点検し統括部署は店舗別指導強化を実施します 監査部(検査課)による法令遵守状況の検査強化を図ります 	<ul style="list-style-type: none"> 九州協会主催のコンプライアンスの定着講座「違反事例から学ぶ、定着を拒む要因・定着化に向けて、目的の認知」を受講 内部研修は前述の外部研修参加者を講師とした各研修・勉強会を開催 コンプライアンス研修テーマに基づいた実施報告書の状況を点検し統括部署は店舗別指導強化を実施 監査部(検査課)による法令遵守状況の検査強化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス研修テーマに基づいた実施報告書の状況を点検し統括部署は店舗別指導強化を実施 監査部(検査課)による法令遵守状況の検査強化を図る コンプライアンス・プログラムの作成 階層別に研修を実施 統括部署とコンプライアンス担当者との連絡会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度コンプライアンス研修テーマに基づき全店において内部研修を行い、コンプライアンス委員会に報告しております 監査部による内部検査時に法令遵守状況の点検把握を行いました 平成18年度コンプライアンスプログラムを作成しました 	<ul style="list-style-type: none"> 監査部の依頼による店内検査項目兼報告書の見直しを本部各部署が行いました
その2 適切な顧客情報の管理・取扱いの確保	<ul style="list-style-type: none"> 顧客情報の管理態勢の強化と検査の厳格化を行うため個人情報保護管理責任者を定め責任者を中心に組織的に個人情報管理し個人データの安全な管理・取扱いを徹底します 「コンプライアンス研修テーマ」により本部各部及び営業店に於いての勉強会を開催します プロジェクト委員会による平成17年7月に全役職員を対象とした個人情報保護法に関する研修会を実施します 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客情報の洗出し作業及び、個人情報保護法にかかわる情報資産の一斉点検を実施 プロジェクト委員会による平成17年7月に全役職員を対象とした個人情報保護法に関する研修会を実施 個人情報保護法に関する各種規程を作成 コンプライアンス研修会テーマによる勉強会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉点検実施に伴う情報資産台帳の見直しを実施 コンプライアンス研修会テーマによる勉強会を実施 安全管理マニュアル規程に基づいた点検・管理の徹底を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 保険窓販に関する事務取扱要領を全面改訂しました コンプライアンス研修テーマによる勉強会を実施しました テラーレベルアップ研修入組10年以上等、階層別に応じたコンプライアンス研修を実施しました(8回研修) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年度コンプライアンス・プログラムを策定しました 保険窓販コンプライアンス研修を損害保険会社より行いました 当組合顧問を講師とし全職員を対象にしたコンプライアンス研修を平成19年3月19・20日開催しました

項 目	具体的な取組み	スケジュール		平成18年4月～19年3月までの進捗状況	
		17年度	18年度	18年4月～18年9月まで	18年10月～19年3月まで
(5)ITの戦略的活用					
その1 ITの戦略的活用	<ul style="list-style-type: none"> 当組合ホームページの開設を予定しています 「あのネット」加入により生活者支援ライフプラン・シュミレーションにて情報提供を行う予定です SKCシステムへの移行検討会においてITの活用も検討していきます パソコンの各部署への増設と職員一人1台の普及を検討します 	<ul style="list-style-type: none"> SKCシステムについて、理解を深めつつIT関連も含め、地域の特性や利用者のニーズを踏まえて検討を行うとともに、しんくみ生活総合センターのシステムについても検討を図る 「あのネット」加入予定 当組合ホームページの開設準備 パソコンの各部署への増設と職員一人1台の普及の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 当組合ホームページの開設 「あのネット」の活用開始 当組合ホームページの掲載内容の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 継続してSKC（信組情報センター）への移行手順について、システム委員会にて検討を図っております 本部にパソコン12台を購入しました 当組合ホームページを開設しました 	<ul style="list-style-type: none"> SKCより移行担当者を招き 事務取扱要領（預金編・融資編・為替事務等）について2週間研修会を開催しました 平成19年1月福岡財務支局 主催「金融機関におけるITの戦略的活用に関するシンポジウム」に参加しました
(6)協同組織中央機関の機能強化					
協同組織中央機関の機能強化 個別金融機関の市場リスク管理体制等の強化に向けての取組み	<ul style="list-style-type: none"> ポジション枠、リスク・リミット及び損失限度額の見直しを図ります 業務に精通した人材の育成を図ります 事故防止のための人事管理を行います 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成のための研修 ポジション枠、リスク・リミット及び損失限度額の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 連続休暇制度の検討 ポジション枠、リスク・リミット及び損失限度額の見直し ALM委員会設置の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ポジション枠、リスクリミット及び損失限度額を見直しました 「金融商品取引法」説明会へ参加しました 	<ul style="list-style-type: none"> 全国信用組合連合会との連携強化により、有価証券ポートフォリオを分析し今後の運用方法について勉強会を実施しました 「アウトライヤー報告資料対応セミナー」へ参加しました

項 目	具体的な取組み	スケジュール		平成18年4月～19年3月までの進捗状況	
		17年度	18年度	18年4月～18年9月まで	18年10月～19年3月まで
3. 地域利用者の利便性向上					
(1) 地域貢献等に関する情報開示					
その1 地域貢献に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる開示内容及び方法等の検討をします ・利用者の利便性・満足されるよう分かりやすい開示に努めます 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌にて開示 ・ミニディスクロージャー誌にて開示 ・ホームページによる開示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌にて開示 ・ミニディスクロージャー誌にて開示 ・ホームページによる開示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる開示を行いました ・当組合の地域貢献について開示しました 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年11月ミニディスクロージャー誌により開示しました ・平成18年度上期分の進捗状況をホームページ（要約書）にて開示しました
その2 充実した分かりやすい情報開示の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・開示内容を分かりやすく表現する為に項目・区分毎に図表等を多用し、理解が得られるような記載内容を検討します 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌による開示 ・地域貢献に関する充実した分かりやすい情報開示項目の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した分かりやすい表現にするため、項目・区分毎に図表等を多用し、理解が得られるような記載内容を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌により内部研修・外部研修状況を開示しております ・図形・グラフを用い分かりやすいディスクロージャー誌を作成して開示しました 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニディスクロージャー誌による開示を行いました

項 目	具体的な取組み	スケジュール		平成18年4月～19年3月までの進捗状況	
		17年度	18年度	18年4月～18年9月まで	18年10月～19年3月まで
(3) 地域利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査の方法・内容を検討し経営方針へどう反映させるかを検討します 取引先への知的サービスの徹底とアンケート調査による、利用者の利便性の対応を図ります アンケート調査票の常時備付をします 地域利用者の満足度を重視する為、顧客ニーズの収集の強化を図ります 地域から集めた預金を地域支援にどう活用しているか、預金・貸出金の業種別構成を開示することにより地域の理解を得るようします 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査の方法・内容の検討 アンケート調査の実施 地域利用者の満足度を重視する為、顧客ニーズの収集の強化を図る 地域から集めた預金を地域支援にどう活用しているか、預金・貸出金の業種別構成を開示することにより地域の理解を得る 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者満足度アンケート調査実施により経営方針へ反映させます 地域利用者の満足度を重視する為、顧客ニーズの収集の強化を図る 地域から集めた預金を地域支援にどう活用しているか、預金・貸出金の業種別構成を開示することにより地域の理解を得るよう努めます 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクロージャー誌に顧客満足度アンケート調査結果の一部を分かりやすく図形にて開示しました 	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年10月28日県協会主催「第7回ロールプレイング大会」が開催され、当組合も2組参加しテーマ「ローンの問い合わせ」の電話対応について各組合と競い合いましたその後(株)経済法令研究会の講師より「お客様のために変わろう！」をテーマにCS(顧客満足)について講演があり、参加者全員聴取しました
(4) 地域再生推進のための各種施策との連携等	<ul style="list-style-type: none"> 各営業店と商工会等の関わりを調査し地域の活性化、再生支援に向けた地域と一体となった取組みを行います 	<ul style="list-style-type: none"> 各営業店と商工会等の関わりを調査し地域再生に生かします 地域の活性化、再生支援に向けた地域と一体となった取組み策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 施策の取組み連携開始を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 福岡県および市町村の制度資金を活用し46件149百万円融資実行しました 	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年3月7日久留米中央ライオンズクラブの要請により当組合職員有志により献血活動に協力しました 福岡県および市町村の制度資金を活用し、下半期38件149百万円融資実行しました
4. 進捗状況の公表	<ul style="list-style-type: none"> 機能強化推進に関する半期毎開示をディスクロージャー誌にて半期ごとに公表し、内容の充実を図って実施します 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクロージャー誌にて半期ごとに公表 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクロージャー誌にて半期ごとに公表 	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラムに基づく進捗状況をディスクロージャー誌およびホームページに開示しました 	<ul style="list-style-type: none"> ミニディスクロージャー誌による半期開示を行いました